

月探査ワーキンググループの設置について(案)

平成 19 年 7 月 26 日
宇宙開発委員会計画部会

1. 設置の趣旨

現在、審議している次期「宇宙開発に関する長期的な計画」においては、新たに「宇宙探査への挑戦」を盛り込むことを検討している。

しかしながら、月・惑星探査については、近時、各国の取組が急激に活発化していることから、長期計画において、そうした状況を踏まえた我が国としての月探査に関する基本的な方向性を示す必要がある。このため、計画部会の下に「月探査ワーキンググループ」を設け、幅広い分野の専門家の意見を聴取して専門的かつ集中的な審議を行うこととし、その審議の結果は、計画部会に報告し、更に同部会において審議を重ねた上、「宇宙開発に関する長期的な計画」の策定に反映させることとする。

2. 調査審議の内容

月探査ワーキンググループにおいては、以下の項目について専門的・技術的観点から調査審議を行う。

宇宙探査の目的、意義。宇宙探査における月探査の位置付けと目的、意義

将来を見据えた我が国における月探査の目標及び具体的な計画

月探査計画の国際協力・協働の進め方と日本の役割

3. 月探査ワーキンググループの構成員

座長：鶴田計画部会委員

委員：計画部会構成員のうち、部会長が指名する者及び新たに有識者として招へいされた者

なお、審議内容に応じて大学等から有識者を招へいして意見聴取する。

4. その他

「宇宙開発委員会の運営等について」(平成 13 年 1 月 10 日宇宙開発委員会決定)を踏まえ、月探査ワーキンググループにおける調査審議は原則として公開することとし、特段の事情がある場合には、非公開とすることができるものとする。

本ワーキンググループは、平成 19 年 8 月から平成 19 年 10 月までの間に 4 回程度開催する予定。

月探査ワーキンググループ構成員(案)

青江 茂 宇宙開発委員会委員長代理
池上 敬彦 宇宙開発委員会委員
野本 陽代 宇宙開発委員会委員(非常勤)
森尾 稔 宇宙開発委員会委員(非常勤)

【計画部会特別委員】

青木 節子 慶應義塾大学総合政策学部教授(宇宙法)
(座長) 鶴田浩一郎 元宇宙科学研究所長(太陽系プラズマ研究)
中須賀真一 東京大学大学院工学系研究科教授(航空宇宙工学)
観山 正見 自然科学研究機構国立天文台長(理論天文学)

【有識者委員】

土屋 和雄 京都大学名誉教授(行動設計論)
中西 寛 京都大学大学院法学研究科教授(国際政治学)
水谷 仁 ニュートン編集長(宇宙航空研究開発機構名誉教授・固体地球物理学)
向井 正 神戸大学大学院理学研究科教授(地球惑星科学)
山根 一真 ノンフィクション作家

(オブザーバー)

松尾 弘毅 宇宙開発委員会委員長